

施策を構成する事業評価

No.	25	担当課	茶業振興課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	2	活力と魅力のある茶のまちづくり
施策名	1	活力ある茶業の振興を推進します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	茶生産経営体育成推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.1.3.106008(茶業振興費) 6.1.3106853(農業振興総務費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 茶工場等と検討会を実施し、生産性の高い安定的な茶業経営体の育成を図る。 研修会等を実施するJA遠州夢咲や茶業委員会を支援し、茶工場や茶生産者自らが検討し事業の進捗を図る。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 茶業振興計画を見直し、経営体の強化(茶農協から株式会社への営農組織の再編、茶工場を核とした茶園管理組織の育成、茶園集積による生産性の向上)を重点事業と定めている。 重点事業の進捗を図るため、中遠農林事務所、JA、市と編成した対策チーム内の情報の共有化と強化を図るため検討会を1回開催した。 組織の再編や経営体の育成を図るため、選定したモデル地区・茶工場との話し合いを3回、モデル外との話し合いを対策チームにて11回開催した。 茶園集積の進捗を図るため選定したモデル地区・茶工場との話し合いを4回、モデル外との話し合いを対策チームにて1回開催した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 各生産者の考え方が違うことから茶工場や地域で方向性を統一するためにも、取り纏めるリーダーが必要である。 法人化や茶園集積についての検討には時間が必要であることから、継続的な話し合いが必要である。 モデル地区・茶工場以外においても、茶業情勢から各茶工場における法人化や集積への検討を急務に取組まれる事もあり、随時情報収集が必要である。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 重点事業は平成30年度から令和4年度までの期間とし事業を実施する。また、事業の評価等は茶業振興計画検討委員会や茶業審議会で検討し事業の進捗を図る。 		

事業名(中分類)	安全安心の菊川茶生産推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.1.3.106008(茶業振興費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 茶園管理において事業実施するJA遠州夢咲を支援し、施肥量の削減や病害虫防除など環境への負荷軽減を図る。 農業残留分析を行う生産者を支援し、生産工程の安全確保のためGAPの推進を図る。 農業災害対策資金の利子補給金を交付し、自然災害等により被害を受けた生産者の経営の安定及び生活の維持を図る。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 施肥管理では、土壌成分の調査や施肥管理暦を作成した。また病害虫防除では定期的に圃場を巡回し、茶生産者への情報発信を実施した。 農業残留分析では、茶農協の解散などにより延べ50工場の実施となり、昨年度より減少した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> GAPにはT-GAPとJGAPがある。T-GAPは静岡県独自の制度であり、取得や維持に対する費用負担は少ないが、メリットが感じられないとの意見も多く、継続して更新しない農家が增加している。また、JGAPは各茶工場の取引先から求められることが多くあり取得を検討する組織が増えているが、国の補助が今年度で終了となる予定である。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、作業の安全確保と環境への負荷軽減を図る事業を実施するJA遠州夢咲を支援し、環境にやさしく安全安心な茶産地づくりに努める。 		

事業管理シート(施策)

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	2	活力と魅力のある茶のまちづくり
施策名	1	活力ある茶業の振興を推進します

事業名(中分類)	茶園管理推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.1.3.106008(茶業振興費) 6.1.3.106012(市単独農業振興施設建設等補助事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化を推進するため、茶園整備する生産者を支援し、茶園の機械化の推進及び生産者の育成を図る。 ・乗用型茶園管理機械を導入する農業生産法人等を支援し、茶園管理の共同化又は共同摘採など組織的な茶業経営への転換を図る。 ・国補助事業(農村漁村活性化プロジェクト支援交付金)を活用し、茶園整備等を実施し、補完的整備を図る。 ・品評会に出品する団体等に報奨金を交付し、茶産地との差別化や茶づくりの技術向上を図る。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・茶園の機械化対応の促進と茶業経営体の育成を図るため、茶園整備や農道整備、かん水施設整備を実施した生産者6名に対し補助金を交付した。 ・品評会への出品団体数は15団体に増加し、報奨金を交付した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の生産者が減少するなか、共同摘採や共同管理の取組みが必要であるが、茶園集積や茶園整備、茶工場の組織体制などの複合的な要因により進捗が図られていない。 ・品評会へ出品する団体数を増加することが出来たが、出品を行わない団体の理由を整理する必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・各茶工場の経営ビジョンを明確にし、組織の再編や管理経営体の育成を進めるためにも、選定したモデル地区・茶工場等との打合せを継続して実施する。 ・品評会の出品団体数の増加に関しては、JA遠州夢咲と連携して茶生産者への依頼や指導などを継続して実施する。出品を行わない団体の理由を整理し、必要な対策の検討を進めていく。 		

施策を構成する事業評価

No.	25	担当課	茶業振興課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	2	活力と魅力のある茶のまちづくり
施策名	2	茶の消費拡大を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	茶交流促進事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4.107028(茶交流体験促進事業費)									
事業指標	市外来場者数	現状値 H27	実績値							目標値 R7	達成 状況(%)	
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	6000人 (累計)	34
事業概要	・茶や野菜等の各生産者と行政が共同して企画・運営を行う交流体験事業を実施し、菊川茶や市内特産物のPRと交流人口の増加を図る。											
取組内容・結果等(D)	・ツアー会社や生産者との共同によるグリーンツーリズム事業を10回実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により3月に予定していた交流体験事業を中止したこともあり市外からの来場者数は568人となり減少している。											
課題・問題点等(C)	・今後も市外からの来場者の増加を図るためにはツアー会社や企業、生産者との連携を強化する必要がある。 ・都市部からのツアーを企画する際には、旅行代金が高額となるため集客に影響がある。 ・新たな企画などによりマンネリ化を防止するためにも、新たな企業や団体との連携が必要となる。											
今後の方向性(A)	・新たな共同事業者の実施や市外へ出向いての菊川市のPRを実施する。 ・生産者やツアー会社などとの連携や宣伝活動の支援を行うことで宣伝の強化に努め、市外来場者の増加を図る。											

事業名(中分類)	茶業改革推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.1.3.106008(茶業振興費)									
事業指標	団体自らが行うPR出展数	現状値 H27	実績値							目標値 R7	達成 状況(%)	
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	20	100
事業概要	・市内外に向け生産者の顔が見えるPR事業を展開し、人、物、企業など様々なつながりのある地域にて継続的に宣伝事業を行い、消費拡大を図る。 ・若手茶生産者が就業しやすい環境を整備するため、若手茶生産者に対し経営力の向上及び地域リーダーの育成を図る。 ・各生産者がそれぞれ目指す経営体・経営方針を見出すため、生産者が自ら行う視察、研修会等の事業を支援し、産地強化を図る。											
取組内容・結果等(D)	・生産者自らが販売等を行うため、市又は茶業協会が出展するイベントに団体を同行させた。年間を通じて出展したイベント数は34回、出展団体数は20団体、延べ45団体が出展した。 ・各生産団体が自ら行った視察研修や資格試験に参加した5団体に補助金を交付した。 ・若手茶生産者の経営力向上を図るために必要な視察・研修会の内容を、検討会・若手生産者への訪問によりニーズを考慮した視察研修を企画した。(新型コロナウイルス感染症の影響により翌年度へ延期)											
課題・問題点等(C)	・市や茶業協会が出展できるイベント数は年間で決まっているが、イベントに出展する生産者の増加を図りたい。 ・若手茶生産者の検討会組織において、新たな若手を登用していく必要がある。											
今後の方向性(A)	・イベント出展などの事業を継続するとともに、新たな出展団体の掘り起こしに努める。 ・各生産団体自らが行う視察研修などへの補助制度の周知を行い、実施団体の増加に努める。 ・若手茶生産者において視察研修を開催するとともに、新たな研修会開催を検討する。また、検討会組織に新たな若手生産者の登用に努める。											

3. 基本事業

事業名(中分類)	茶消費拡大事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.1.3.106008(茶業振興費) 7.1.4.107014(茶消費拡大振興費)									
事業概要	・世界緑茶協会や菊川市茶業協会が行う、お茶に関する情報収集や発信、販売促進、文化普及などの活動を支援する。 ・市役所に給茶機を設置し、市民がより一層菊川茶を飲む機会の増加を図る。											
取組内容・結果等(D)	・世界緑茶協会や菊川市茶業協会に対し、負担金を交付し活動支援を行った。市制15周年事業や、静岡県で開催された世界お茶まつりなどにおいて、菊川茶のPRを実施した。 ・給茶機の設置及び管理業務を行い、延べ14,424人に菊川茶を提供出来た。											
課題・問題点等(C)	・厳しい茶業情勢に対し、効果的な活動を展開する必要がある。											
今後の方向性(A)	・世界緑茶協会や菊川市茶業協会の活動支援や給茶機での呈茶を継続し、茶の消費拡大を推進する。											

施策を構成する事業評価

No.	25	担当課	茶業振興課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	2	活力と魅力のある茶のまちづくり
施策名	3	茶文化を継承します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	茶文化継承事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.1.3.106007(茶草場農法推進事業) 6.1.3.106008(茶業振興費) 7.1.4.107014(茶消費拡大振興費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 手揉み技術を継承する手揉み保存会への支援やお茶の淹れ方教室を実施し、茶文化の普及を図る。 環境への負荷を軽減する世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を推進し、市内茶業を始めとする地域全体の活性化を図る。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 菊川茶手揉み保存会や小笠手もみ製茶技術保存会の活動に対し、負担金を交付した。 小学校や市民団体などにおいてお茶の淹れ方教室を21回開催し、茶文化の普及を図った。 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会での事業協力や市単独による5回のイベント出展により、伝統的な「静岡の茶草場農法」と農法により作られたお茶のPRを実施した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> お茶の淹れ方教室に関しては、更なる茶文化の普及を図るため新たな団体での開催に努めたい。 「静岡の茶草場農法」に関しては、農法認定実践者の高齢化の進捗により維持が困難な状況となっている。管理作業の負担を軽減できる体制の構築に努めたい。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 菊川手揉み保存会や小笠手もみ製茶技術保存会の活動に対する支援、お茶の淹れ方教室の実施に関する事業は継続して実施する。 お茶の淹れ方教室の更なる回数増加、新たな団体での開催に向け、健康マイレージの対象事業へ追加する。 「静岡の茶草場農法」に関しては、管理作業応援ボランティアの受入体制の構築、企業からの協力的体制の構築、イベント出展などによる情報発信を実施する。 		